

発議第9号

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

上記の議案を下記のとおり提出する。

令和元年10月17日

提出者

石井孝治	加藤博男	長島 強	稲葉寛之	後藤哲朗	堀 努	島 直也
寺澤 潤	平井正樹	杉本 護	風間重樹	山梨 渉	大石直樹	池邨善満
尾崎行雄	宮城展代	池谷大輔	畑田 響	福地 健	早川清文	寺尾 昭
安竹信男	井上智仁	佐藤成子	水野敏夫	望月俊明	大村一雄	尾崎剛司
丹沢卓久	牧田博之	繁田和三	山根田鶴子	松谷 清	内田隆典	白鳥 実
山本彰彦	中山道晴	望月厚司	亀澤敏之	遠藤裕孝	石上顕太郎	井上恒彌
田形清信	鈴木和彦	伊東稔浩				

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

近年、交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、75歳以上の高齢運転者の死亡事故の割合は高まっており、単純ミスによる事故も目立っている。

警察庁は、昨年末時点で約563万人いる75歳以上の運転免許証保有者が、2022年には100万人増えて663万人に膨らむと推計している。

こうした状況を踏まえ、国は2017年施行の改正道路交通法で、75歳以上の免許証保有者は違反時や免許証更新時に認知機能検査を受けることを義務付けたが、今や高齢運転者の安全対策及び安全運転支援の取り組みは待ったなしの課題である。

また、過疎地域を中心に、いまだ生活の足として車が欠かせない高齢者も多い中、自主的に免許証を返納した場合などの地域における移動手段の確保も重要な取り組みである。

よって、政府におかれては、地方自治体や民間事業者とも連携しながら、総合的な事故防止策としての、高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、下記の事項について早急に取り組むことを強く求める。

記

- 1 自動ブレーキやペダル踏み間違い時の急加速を防ぐ機能など、ドライバーの安全運転を支援する装置を搭載した安全運転サポート車（サポカーS）や後付けのペダル踏み間違い時加速抑制装置の普及を一層加速させるとともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討すること。
- 2 免許証を自主返納した高齢者が日々の買い物や通院などに困らないよう、コミュニティバスやデマンド（予約）型乗り合いタクシーの導入など、地域公共交通ネットワークのさらなる充実を図ること。また、地方自治体などが行う、免許証の自主返納時におけるタクシーや公共交通機関の割引制度などを支援すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

〔提出先：内閣総理大臣、国土交通大臣、経済産業大臣、総務大臣、国家公安委員会委員長 宛〕